

「平成 28 年熊本地震」に伴う豊岡市の対応

4月14日以降、連続して発生している「平成28年熊本地震」を受け、市では、迅速な被災地支援を実施するため、熊本地震豊岡市災害対策支援本部会議（現在までに2回開催）を開催し、市独自の支援対策を進めてきた。

また、消防についても、緊急消防援助隊として、熊本県益城町などで再検索活動等の任務に従事した。

1 活動内容（5月2日現在）

(1) 物的支援等

No.	提供先自治体	提供元	提供支援物資
1	菊池市（熊本県） （全国ボート場所在市町村による災害時支援協定締結）	市	(1) 飲料水ペットボトル(2L) 1,440本 (2) 避難所用ウレタンマット(1m×20m) 4本 (3) 見舞金 100,000円
		市民	(1) 募金 104,514円
2	大津町（熊本県） （「物資不足」情報による）	市	(1) 飲料水ペットボトル(2L) 1,200本 (2) おむつ(大人用・赤ちゃん用) 約2,000枚 (3) 生理用品 約1,000枚 (4) ウェットティッシュ等 450個 (5) ごみ袋 820枚 (6) 見舞金 100,000円
3	益城町（熊本県） （関西広域連合支援先）	市	(1) 割りばし 15,500本 (2) サランラップ 200枚 (3) 歯ブラシセット 10,000セット (4) 歯磨き粉(チューブ) 250個 (5) 見舞金 100,000円

(2) 緊急消防援助隊

ア 豊岡隊第1次派遣（4月16～20日）

出場隊	隊数(隊)	人員(人)	活動内容
救助隊	1	5	益城町で倒壊建物の再検索活動
後方支援隊	1	2	野営地の開設活動、資機材の管理搬送

イ 豊岡隊第2次派遣（4月18～22日）

出場隊	隊数(隊)	人員(人)	活動内容
救助隊	1	5	南阿蘇村で夜間を含め土砂崩れ現場の搜索活動
後方支援隊	1	2	野営地の開設活動、資機材の管理搬送

2 今後の支援内容

(1) 「熊本県益城町」への支援

関西広域連合のカウンターパート方式（特定の被災地区に特定の支援自治体を割り当てて支援する取組み）により益城町の支援を行う。また、これまでの物資支援から人的支援に重点を置く。

ア 人的支援

(ア) 現在決まっている支援

a 家屋被害認定士の派遣

(a) 派遣期間 5月6日（金）～14日（土）

(b) 派遣人数 2人

b 避難所への派遣

物資の仕分け、配送などを行う。併せて被災地のニーズ調査を行い、今後の支援活動の参考とする。

(a) 派遣期間 5月17日（火）～26日（木）

(b) 派遣人数 2人〔※ 養父市(2人)、香美町(2人)の6人チーム〕

(イ) 今後見込まれる支援

a 保健師、栄養士の派遣

b その他行政一般事務職員の派遣

※ 市OB職員の派遣も検討する。

イ その他

人的支援に重点を置くが、避難所の環境改善に寄与する段ボールベッドについては、益城町から要請があれば直ちに配送する。また義援金の送付先も益城町とする。

(2) 被災者の受入支援

被災された方に対し、豊岡市営住宅を提供する。

ア 提供する市営住宅

市営塩津住宅（5戸）

イ 入居期間

原則6か月以内

※ ただし、特に事情がある場合は1年。住宅再建に時間が必要な場合は、当面2年までの延長を可能とする。

ウ 使用料等

使用料、敷金は免除

※ ただし、光熱水費、共益費、駐車場利用料および引越し費用は自己負担

エ 受付開始日

4月27日（水）

(3) ボランティアの受入調査

豊岡市社会福祉協議会が、ボランティアセンター運営支援として、5月1日～6日までの期間に職員2人、5月5日～10日までの期間に職員1人を、益城町に隣接する西原村に派遣される。

※ 全国社会福祉協議会・近畿ブロックが、熊本県社会福祉協議会と調整した結果、兵庫県社会福祉協議会は西原村を支援することとなった。